

平成28年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 杉本 昭則	施策コード	11	06
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	高校教育課			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		人・地域	北海道の未来を拓く人材の育成		ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担うひとづくり		-	
	北海道創生総合戦略	A3951,A3952		北海道強靱化計画	-	新・北海道ビジョン	C05302,C05401,C05503,C05504,C05505,C05506,C05507	
特定分野別計画等	北海道教育推進計画							
現状と課題	<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。</p>			施策目標	<p>・家庭・地域・企業などの協力を得て、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実を図る。</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【キャリア教育の推進】 [道] 「キャリア教育・職業教育推進事業」において、高校4校を研究指定校とし、学校から社会・職業への移行が円滑に行われるよう、社会的・職業的自立に向け、必要な基礎的・汎用的能力を育成し、キャリア発達を促す体系的なキャリア教育及び職業教育の推進、 「キャリア教育・職業教育推進事業連絡会議」を開催し、事業を実施上の課題等について協議など</p>			<p>【ふるさとキャリア教育の推進】 [道] 「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」において、高校、中学校、小学校を研究指定校とし、地域の未来を担う人材を育成するため、地方自治体や地域の産業界など関係機関、団体の支援を受けながら、家庭生活の大切さや子どもを育てることの意義についての学習や、小学校、中学校、高等学校間の体系的なキャリア教育に取組み、本道におけるキャリア教育の推進、 外部有識者や道教委関係課等によって組織する「北海道キャリア教育推進会議」の設置 外部有識者、PTA、自治体、経済団体、家庭教育サポート企業等によって組織する「地域未来づくり会議」を設置するなどし、研究指定校への専門的見地からの指導助言など</p>			施策の予算額	
							H27	71,006
							H28	69,614
H29	-							
今年度の主な取組	<p>一人一人のキャリア発達への支援の充実、進路指導の充実</p>							
<p>：主要指標に係る取組 ：その他の取組</p>								

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
・インターンシップを体験する生徒数の目標を設定し、インターンシップを推進した。		A3951	-	C05401、C05505、C05506
・道内の小学校20校、中学校16校、高校14校を「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」の研究指定校として指定し、地域に根ざした小中高の一貫したキャリア教育を推進した。		A3952	-	C05302、C05506
・北海道労働局や道経済部と連携し、経済団体に対する雇用要請を計2回実施した。		-	-	C05505
・大学、試験研究機関、地域産業等と連携した専門的知識・技能の取得や時代の地域産業を担う専門的職業人の育成に係る実践研究を行った。		A3952	-	C05504
・特別支援学校において、関係機関と連携し294社に実習を依頼し、就労先の開拓・確保を行った		A3951	-	C05507
・キャリア教育・職業教育推進事業の推進を図るため、「キャリア教育・職業教育推進事業連絡会議」を開催し、実践研究計画や研究内容について説明を行うとともに、課題等について検討を行った。		A3952	-	C05505
(2) その他の取組の成果等				
<p>国等提案・要望状況</p>	<p>・新規学卒者を取り巻く就職環境は厳しい状況が続いていることから、新規学卒者の雇用促進に向けて、経済団体、業界団体等の関係団体等に対し、引き続き要請を行うとともに、厚生労働省、経済産業省と連携し、就職面接会の開催数を拡充するなど、新規学卒者に対する就職支援策の充実を要望した。(平成28年5月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>・「インターンシップ実施状況調査」による保護者が捉えている課題の一つに、「受入企業を増やすこと」があることから、毎年、関係団体等に対し、インターンシップの受入企業の拡大を要請している。(平成28年7月 インターンシップ要請)</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況	2 - 2 連携の取組状況
---------	---------------

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	・地域の未来を担う人材を育成し、本道におけるキャリア教育の充実を図るために設置した「北海道キャリア教育推進会議」に道の関係部の参画を得て、協議・意見交換を実施 ・学校におけるインターンシップを推進するに当たり、道の関係部から「インターンシップ受入登録企業」の情報提供を受け、連携して事業を実施 ・道が設置する「北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会」に参画し、建設産業の担い手確保・育成について協議・意見交換を実施	N0518	経済部人材育成課	・北海道キャリア教育推進会議を年間2回開催し、小中高一貫ふるさとキャリア教育の推進に向けた各管内の取組について協議・意見交換を実施するなど、連携が図られた。(H27.11.5、H28.2.17) ・各学校に対して、「受入登録企業一覧」を活用するよう周知するとともに、活用状況やその他に実施した企業について道に情報提供した。(年2回) ・建設産業の担い手確保・育成、特に女性の就業進出等について協議・意見交換を実施するなど、連携が図られた。(H27.6.10、H27.12.22)
		N0518	経済部雇用労政課	
		N0805	建設部建設管理課	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

3 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・関係団体等へインターンシップ受入先確保の要請を行ったことや、インターンシップ指導事例集を活用したことなどの効果であると考えます。
		基準値	52.7	目標値	55.6	最終目標値	60%以上	年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕 全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合	北海道創生総合戦略	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	54.5	55.6	60.0	
				増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	59.6	-	59.6	
								達成率	109.4%	-	99.3%	

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校生)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・進路相談員による個別面談や進路講話、教職員へのカウンセリング手法等の研修などの実施により、きめ細かな指導が浸透した効果であると考えます。
		基準値	3.5	目標値	3.5	最終目標値	現状以下	年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕 就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校)	北海道創生総合戦略	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	3.5	3.5	現状以下	
				減少		$\frac{(\text{目標値})}{(\text{実績値})} \times 100$		実績値	2.5	-	2.5	
								達成率	140.0%	-	140.0%	

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標						
	関連指標	2					

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	-	-	<p>< 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの実施や就職未決定者の指導など施策全体に対し効果的な取組を推進していることが認められる。 	+ 評価
関連指標	-	<p>< 全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合 [A] ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度合が高まった理由としては、関係団体等へインターンシップ受入先の確保の要請を行ったことや、インターンシップ指導事例集を積極的に活用したことなどの効果によるものと考えられる。 <p>< 就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校生) [A] ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度合が高まった理由としては、進路相談員による個別面談や進路講話、教職員へのカウンセリング手法等の研修などの実施による、きめ細かな指導が浸透したことによるものと考えられる。 	<p>< 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者の雇用促進に向け、経済団体、業界団体等に必要な要望を実施している。 <p>< 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実施状況調査を実施し、保護者の抱える課題を把握し、施策の推進に役立っている。 <p>< 施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを核とするキャリア教育の推進や地域産業の担い手育成に係る取組について、関係部と連携した成果が認められる。 ・北海道労働局や道経済部とともに、経済団体に対する雇用要請を実施しており、新規学卒者の求人確保等について連携の成果が認められる。 	

総合評価	概ね順調に展開	評価の要	指標の達成度合が順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	------	----------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	全日制道立高校における、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合は、順調に増加していることから、引き続き、今後も関係団体等へインターンシップの受入先の確保を要請していく。		A3951	-	C05505
	就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合は減少してきていることから、今後も進路相談員による個別相談や進路講話、教職員へのカウンセリング手法等の研修会などを実施していく。		-	-	C05401

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11	06
-----	-----------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11	06
-----	-----------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
11051399	進路指導に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11051899	進路指導に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11053200	新規学卒者就職対策推進費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
11053300	高等学校キャリア教育実践事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
11054200	小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11	06
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<新たな取組等> 引き続き関係団体等へインターンシップの受入先の確保を要請するとともに、各学校に対し、実施期間や回数の拡大など内容を充実するよう指導していく。
	<新たな取組等> 進路相談員が、各学校において面談や講話などを行う際、労働に関する教育についての内容の充実が図られるよう、労働法に関わる内容を取り入れた研修などを実施していく。

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11	06
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	3 事業	2 事業	事業	事業	事業	5 事業
反映結果	事業	事業	3 事業	2 事業	事業	事業	事業	5 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
事業